津奈木

鳥羽僧正の戯画　農中教育長提供

あけまして おめでとうございます

新春対談

町長　六車孝吉
議長　川崎一幸
委員長　田上一智

それは何でしょう

○おめでとうございます。去年は中学校が優勝旗を十六本も持ってきたし、老人会、郡体その他も対外競技で、優勝旗を持ってこぬことはありませんでしたが、

町長　やればできるという自信があったからでしょう。

議長　町でスポーツに相当力を入れていられるから、そのあらわれでしょう。

委員長　先生方の団結の結果だと思います。それも予算関係で、教育費予算は一銭も削られません。この教育尊重が学校にひびかぬはずはありません。町と学校との心と心のあたたかいつながりが、スポーツにもつながっていると思います。

優勝旗の行く方

○これから先が問題です。

町長　市郡体育祭で津奈木が優勝したのは、各種目に出たからで一つ一つの競技となると、層の厚い水俣市には勝てません。今後は各種目に選手が多くならぬとおぼつかないでしょう。

議長　よき指導者を得ることですね。以前竹本先生成田先生などりっぱな先生がいられたころの津奈木小学校は、黒シャツ学校といって、体操では県下に鳴りひびいていました。

委員長　先生たちが、放課後のスポーツの指導に、安心してやれる制度がほしいと思いますが―

町長　保険制度を立てるようにしたいと思っています。

福浦には集まって運動するところがありません。

福浦にも老人のいこいの場の必要を感じます。また芦北町と話合って共同で干拓を考えてみましょう。

委員長　将来青年や一般の人が剣道・柔道をやる道場を作ってもらいたいものです。社会体育として必要と思います。

町長　青年団・婦人会・老人会は町のため、たいへん協力してもらっていますので、活動のしやすいようにして上げたいと思います。

スポーツのもたらすもの

○スポーツは町民を明るくし、町民相互の和合ができます。

町長　いい古されたことばでありますが、健全なる精神は健全なる身体に宿るのとおり、町民にもそのままあてはまります。小人閑居すれば不善をなすともいわれています。スポーツに全エネルギーを発散しますと、不善もせず、健康増進にもなって、まさに一石二鳥　ます。

委員長　会社で高校・大学卒を採用するとき、学校でスポーツをやっていたことがわかると、優先的に入れるといいます。スポーツをやると、耐久性・忍耐性が養われ、根性が強くなり、他と協力するなどの長所があります。

町長　根性の養成は今の青年には必要ですな。

議長　礼儀が正しくなります。

町長　近ごろの人は礼儀を知らないといいますが、私もそう思います。他を尊敬しないと、自分も尊敬されません。老人を尊敬しないと、自分が老人になったとき尊敬されません。今は、老人を壁でし切って、家族の間に入れないかたちになっている。一考を要すると思います。

○話題をかえてそれぞれのお立場のお話を話合って下さい。

苦　境

町長　政府が総需要抑制の策ですから、干拓にできるはずの工場が無期延期となりました。その上、補助金はすぐ返さなければなりません。

その上人件費が上がって、自主財源の五倍払っています。入ってくる金はあてが外れ、町自主財源は全予算の五％にしかあたりません。

○三割自治と笑っていましたが、それどころではありませんね

町長　そこで、五歩自治を一割・二割にするには、今のところ、岩城造林組合から買上げた山をうまく活用するしかありません。また、工場誘致は何としても実現せねばなりません。

○山の経営は町長さんだからできることです。

町長　政府の政策は五十年度も同じでしょうから、継続事業は別にして大きな仕事はできません。しかし町の福祉につながることだったら、過疎債を借りてでも積極的にやります。

節　約

議長　今、町長が話されたようにきびしい状態ですから、全般的に節約より外ありません。公務員給料問題からしても、役場は節約の模範を示していただきたい。節約という点から、葬式のときの**花輪こそムダなことだ**と思います。一日で終って、あとは始末に困ります。一万円の花輪でお粗末です。その代りに現金一万円もやったらどれだけ助かるでしょう。青年団・婦人会などでとり上げて、花輪廃止運動を起こしてくれませんかな。

○一同同感

産　業

議長　漁業問題ですが、水俣病で水揚げが前年とくらべ、七〇％に落ちました。このまま進むと業者は自滅です。それで、とる漁業から、養う漁業に変らねばなりませんので、かねて町長さんに構造改善を早く実施するよう、お願いしている次第です。

農業問題

ミカンも肥育牛も大きな打撃をうけています。農協と協力して、何等かの手を打っていただきたい。一面農民との対話を密にしたら、浮かぶ面も出ましょう。

教育問題

委員長　幼稚園を作ってもらって有難うございました。赤崎小学校もりっぱなものを作ってもらえるようで、お礼申します。

町長　平国小学校もそうでありますが、漁港が完成せぬと着手されませんので、お待ち下さい。ついでに、幼稚園はあまり早く帰されるので働くものには困るという人には、五時まではお預りしますのでご承知下さい。福浜方面に保育園をとのことですが、考えてみます。商業学校誘致問題は今一市三町で委員を作って運動中であります。

○今日はいろいろのお話を承って有難うございました。

なごやかに成人式

新成人一一七名

昭和五十年一月四日・五日恒例の宿泊成人式が津奈木町公民館、津奈木小学校体育館を利用して行なわれ、成人者百十七名が参加した。

青年団ではこの日のため役割分担等の打合せ、会場かざりつけ等で数回の会合を行い、今まで以上の盛上がった成人式であった。

津奈木小学校百周年を迎えるにあたって

津奈木小学校長　芥川正則

歴史と景勝の町、教育とスポーツの町として、津奈木は今いろいろの面で再認識されつつあることは町民として誇りに思うと同時に誠に喜ばしいことであります。

名工岩永三平の作といわれる、重盤岩眼鏡橋が昨年県の文化財に指定されましたことは特筆大書すべきことだと思います。又スポーツの面では老人会の活躍、水俣市芦北郡対抗陸上競技大会での二年連続の栄冠加えて一躍県下に津奈木町の存在を確かに印象づけた、津南中学校の快挙等は画期的な偉業であり津奈木町の歴史に輝かしい一頁を加えました。

このような歴史と教育の伝統に支えられた津奈木町の三小学校も前記の栄誉と期を同じくして百周年を迎えますことはなにか一連の関りがあるように思えて喜びにたえません。津奈木小百年の歴史を学校沿革史により御紹介します。

1、明8・10　津奈木村中村の旧会所跡に中村学校として開校。
2、明26・4　津奈木尋常高等小学校と改称、四ケ年の高等科併置。
3、明33・4　現在の役場前に移転
4、昭22・4　津奈木小学校と改称
5、〃30・10　創立80周年記念
6、〃35・4　新校舎落成
7、県算数研究指定体育研究指定
8、昭40・11　創立90周年記念
9、〃45・9　新校舎落成式
10、〃48・3　体育館落成
11、〃50・10　創立百周年記念

以上津奈木小学校百年の歴史を見てまいりましたが大きくわけて

第一期津奈木小基盤整備期
　創立～創立八十周年
第二期を充実成長期
　創立八十周年～九十周年
第三期発展飛躍の時期
　創立九十周年～百周年

特に第三期においてその発展はまさに教育の爆発的飛躍の十年間といっても過言ではないと思われます。その間七千人にのぼる卒業生を教え幾多の人材を世に送り各界において活躍されていることは周知のとおりでございます。

今や津奈木小学校は、広大な運動場と内容外観とともに新様式の校舎・体育館と整備充実された教育施設をもった名実ともに県下でも屈指の学校に成長してまいりました。この時期百周年を迎えますことは校区民の一大慶事であり、皆様方とともに心から祝福いたします。

ローマは一朝にして成らずと申しますが、本校の沿革史にも見られますように、子々孫々に営々として受けつがれて来た。百年に亘る集大成としての姿であることを思う時改めて地区住民の方々に深く敬意を表する次第でございます。

既に百周年記念行事推進特別委員会において記念行事・事業等も計画され推進に一歩踏み出したことは御承知のことと存じます。私どもは、津小百周年を一つの区切りとして栄光の歴史と伝統に更に一歩を進めるために一層の研鑽と精進を重ねて町民の皆様方の御期待と信頼に応えるよう努力して参りたい所存でございます。

御協力とご支援を切に望んで止みません。

ハクション会結成に思う（1）

千代副支部長　寺本信介

旅立ち

僕が、一週間にもわたる、千葉研修に旅立ったのは、ミカンの消毒も一段落ついて、さあ、今からが米の収穫！という時でした。

（仕事が、忙しかったにもかかわらず、親父は快く見送ってくれました）が、そこで得た成果は大きく、いろんな文化施設の見学や、多くの青年との出合いは、素晴らしいものでした。

そして、何よりも、千葉の自然の雄大さには、驚かされました。

ひと月経た今でも、まだ暗い朝もやの中を、明りをつけた幾せきもの漁船が、荒々しい銚子の海にいどむかの様に、出漁してゆく情景が、まざまざと思い浮かんできます。

みんな、息を吐くのも忘れて、眺めていたものでした。

先輩たちの、万歳三唱の声に送られて、熊本駅を出発した一行十二名は、まるで、熊本県を背負ってゆくかのような、決意と重々しい雰囲気で、最初の交歓地である、銚子の東部公民館に向かいました。

そこに着いて、準備ができたとのことで二階に上がってゆくとどうでしょう？青年の人達が、一列に並んで、祭り太鼓と笛と手拍子で迎えてくれたのです。

今までの緊張感が、一辺にほぐれ、僕達は、すっかり感激してしまいました。それに、いい香りが部屋の中から漂ってくるではありませんか・・・！話し合いは、時間の都合で短いものでしたが、即席のスパゲッティ、おでん、しるこ等を食べながらの雑談は、素晴らしいものでした。

長盤岩に国旗を

長盤岩の国旗掲揚台は、昭和九年、皇太子誕生記念として建てられ、四十年の歳月を迎えました。

掲揚の国旗は、戦後多くの人の寄贈によるものでありますが、風雨にさらされ通しで、三ケ月あまりしかもてません。現在のは、津奈木町長六車孝吉氏よりいただきました。

常に、岩上に国旗がひろがえるよう、皆様の善意をご期待します。

津奈木町連合婦人会努力目標

婦人会長　山口享子

変動する社会状勢の中で民主的教養団体として婦人の地位を高め郷土の振興をはかる目的をもって「時代」と「地域」に合った婦人会活動を盛んにするためにはどのように実践努力すればよいかについて学習するために五ッの努力目標をかかげております。

一、会員意識を高めよう。
○校区別研修の強化○支部活動と幹部の養成○広報活動をさかんに
二、消費者活動をさかんにしよう。
○過大包装の追放○くらしの無駄をなくしよ
三、交通事故防止を強力に。
○飲酒運転の撲滅○飛び出し防止○白線引きのてってい
四、健康と体力づくりに努めよう。
○検診と栄養改善○スポーツへの参加
五、奉仕活動をさかんにしよう。
○町や川をきれいに○募金に協力○老人や身障者に思いやりを

以上のうち特に交通事故防止について私達婦人会員は妻・母・主婦として運転なさる方々の御安全をいつも祈って居りますが事故は絶えません。事故防止の母親大会を開いたりして私共自身も歩行者として覚悟も新たに此の運動と取り組む事に致しました。子供の作文募集もしました。お話もきゝました。話し合いもして居ります。子供達は「大人の人がきまりを守ってほしい」「ダンプがあぶない。犬やねこがしかれて死んでいる。あれが人間だったら」と悲しんでいます。交通遺児のさみしい悲しい訴えは涙なくして聞く事が出来ませんでした。又あんな所に勤めている人があんな人がやっぱり酒をのんで運転しようらすけんあぶなかですもんなあ……と心配の声がしきりに。お酒をのんだらぜったいにのらない。のるならぜったいのまないように。人命の尊さと豊かな人間愛の精神にもとづいて行動し、常に交通の規則を守り悲惨な交通事故をなくし明るく住みよい町づくりのために地域ぐるみで又家族そろって協力実践いたしましょう。

電話ダイヤル自動化

一七〇から一挙に一四〇〇

町民待望の電話ダイヤル自動化は、去る十二月十一日午後二時実現した。これで津奈木町内電話加入数は一七〇から一挙に一四〇〇となり、一〇〇戸の中八五戸の家に電話があることとなった。

この日、津奈木町中央公民館では、六車町長等来賓五十名が出席して開通式が行われた。

定刻前全員着席、十三時四十分きっちり開会が宣言され、本部長の開会のことばが終ると、式場に臨時に取りつけられた通信機を通じて、水俣試験室、水俣機械室、津奈木新局、津奈木旧局に対して進行係から「切替要員各部署に配置せよ」の指令が出された。すると通信機から「ただ今から十三時四十七分二十秒をお知らせします。コッ、コッ、コッ、チーン。ただ今から十三時三十秒をお知らせします。コッ、コッ、コッ、チーン。ただ今から……。」という秒読みの声が間断なく流れ出した。場内寂として声なし。

十三時五十分、通信機にかじりついていた進行係が、本部長の前に進み出て「ただ今、切替要員各部署配置完了しました。」と、すみ切った声で報告がある。秒読みは間断なく続いている。

十三時五十七分、再び進行係から本部長に対して「切替準備体制完了しました」と報告。

秒読みの声はその間も間断なく通信機から流れ出る。ただいまから十三時五十七分五十秒をお知らせします。コッ、コッ、コッ、チーン。ただ今から十三時五十八分をお知らせします。コッ、コッ、コッ、チーン。」同時に場内一ぱいに、力強いベルの音が十秒間響き渡った。これは、水俣試験室、水俣機械室、津奈木新局、津奈木旧局に対する「切替用意」の指令の合図であった。秒読みはつづく。

十三時五十九分、再びベルが鳴る。旧線切断の指令である。

十四時きっかり、切替指令のベルが響き渡る。進行係は各部署に対し「切替が完了したら報告して下さい。」と言っている。

十四時二分、進行係から、本部長に対して「切替完了しました。」と威勢よく報告。

こうして歴史的な磁石式からダイヤル式への切替は滞りなく完了、一四〇〇の電話機はその活動を開始した。

第一声は六車町長と東京の福永代議士との間になされた記念通話。ダイヤルするだけで、即時に福永代議士の声が流れ出た。ものの五秒と要しない。

「もしもし、福永先生ですか。こちらは津奈木町長六車です。」

「やあ！通話おめでとう。」

あとは六車町長、例の調子で、希望や要望を諧謔まじりにポンポン話さるれば、緊張した式場も笑いになごむ。

第二声はふる里電話。日本の北の果、北海道に行っている津奈木の人と、津奈木を結ぼうと、さがし求めたら偶然にも、川崎議長の息女鶴代さん夫婦がみつかった。津奈木弁まる出しの通話に、再び場内は爆笑にわく。

第三声は誕生通話。十二月十一日生れで県外に出ている津奈木人ということでさがしたら、やっと赤崎の津々木とし子さん親子がみつかった。子息は義文さん（名古屋）親子水いらずのなごやかな通話で、記念の通話も滞りなく終る。こうして、十四時五十分、諫山助役の音頭で、開通祝福の乾杯をして、この記念すべき開通式も無事終了した。

郷土出身者紹介

津奈木とわたし

谷口秀人

紹介

大正十一年一月一日、谷口重義、キクエの長男として生まれる。水俣小、済々黌、旧制熊本高等工業学校卒業と同時に、現チッソKK水俣工場入社、と同時に現役入隊。二十年十二月召集解除帰郷（陸軍中尉）二十五年二月より津南中六年、牛深高校五年、水俣工業高校十三年（内校長三年）現在八代工業高校長。剣道五段錬士。

両親ともレッキとした津奈木人でありながら、幼時をふり返り、ふるさとでの想い出が少ないということは、実に淋しいものです。

父の勤務の関係で、生れ、そして育ったのは八代郡鏡町でした。幸い小学校は全部水俣でしたので、いくらか津奈木へ帰る機会も多くなり、喜んだものです。今見ると、あんなに狭くて小さな川が、当時は深くて大きな川だったように思え、近所の友達と小ぶなを追っかけ廻わしていた少年の頃が、懐かしく想い出されます。

それにつけても私ほど、津奈木出身の先輩各位に、いろ〳〵と可愛がられ、お世話いただいた者も少ないと思います。済々黌へ入学当時は寄宿舎へはいりましたが、初めて親許を離れた十五才の私には正直云って勉強どころではなく、ただ〳〵淋しさで一ぱいの毎日でしたが、その時最上級生としておられた、現在小津奈木の岡本秋徳先輩が、それこそいろ〳〵と励まし、かばって下さったのが忘れられません。そのあと卒業まで下宿になりましたが、その時も同じ下宿に、現町長の六車孝吉先輩がおられ、津奈木出身ということで、それこそ親身になってお世話いただいたことが有難く想い出されます。次いで軍隊に入隊しましたが、上下門青年クラブでの[illegible]、また大明神様での武運長久祈願式など、いやが上にも津奈木出身者の自覚を植えつけられたものです。入隊は熊本の輜重隊でしたが、そこでもまた、現在町議会議長の川崎一幸先輩に随分とお世話になったものです。

考えるときりがありませんが最後に一つだけ。それは、私が終戦後定職がなく困っていた時に、時の県教育委員であられた斉藤亀合先生からお話があり、津南中学校へお世話いただいたのが、私の教員生活の始めであります。今日の日を迎えることができましたのも、一重に先生の御指導御鞭撻の賜だと深く感謝しております。

先輩が後輩の面倒をみて下さる。―やはり津奈木ならではの人情美しいところではないでしょうか。

これからは私がうけた数々の恩恵を、いくらかでも郷土津奈木の発展に御恩返ししなければと、しみじみ思う昨今で　津奈木町の益々の隆昌発展を心から祈ります。

津南中学校が津奈木中学校と改名される

昨年の夏の異動町政で、各部落毎に、皆さんのご意見を求めていた津南中学校の校名変更については、史実の中から生まれ、二十五有余年継称されてきた校名（津南中学校）であるから、愛着もあり改名に忍び難い点もなきにしもあらずであるが、本町ただ一つの中学校であるにかかわらず、町名と校名とが違うことは、情報化時代の現今、対外的、対社会的にいろいろの不便と不都合があり、かつ、郷土愛育成上からも好ましくないと思われるので、この際町名と同じ校名に改名することが、教育百年の計樹立上からもよいという意見が圧倒的で、十二月の定例町議会において、津奈木町立学校設置条例の一部が改正され、昭和五十年四月一日から、「津奈木中学校」と言うことになった。

くらしの知恵

遺言

元気な中の遺言

遺言といえば、ジメジメしたいやな感じのすることばです。それは死を意味するからです。それでピンピンしている中に書いておけば、正確でもあり、思っていること全部をあらわせます。生前自分の石塔を作っておくのと同じ気持で、書いておきましょう。

自筆証書遺言

遺言には三種の方式があります。そのうち、最も簡単なのはこの自筆証書遺言であります。

書き方

一、遺言書に書かねばならぬこと
　1、遺言したいこと
　2、日付
　3、氏名
　4、印を押すこと
二、遺言、日付、氏名は自分で書かねばならぬ。
三、消したり、つけ加えたりしたら何行目の上から何字目を「何字削除」「何字挿入」と欄外に書いて自分の名を書いて印をおす。その上、訂正した場所にも印を押す。

注意

1、訂正したいことがあれば、いつそのこと、新しく書き直した方が間違いない。
2、地所は、地番、面積、地目（山とか田とか）正確に。
3、二通以上の遺言書があったら、日付の新しい方が効力がある。で、書き直したら、前のものは破るか焼くかして残さぬこと。
4、封筒に入れて保存するなら、ノリづけをしないこと。
5、遺言書を保存する場所は、つれあいか、親友に教えておく。親族会後に見つかって、面倒になった例がある。

遺言書の効力の発生

相続人が遺言書を開くわけだが、これを法律的に有効にするには、すぐ、家庭裁判所（水俣）に持っていって、裁判官に立会の上開封する。ノリづけしてなかったら、その前にも見られる。

備考

右のことは水俣家庭裁判所庶務課長のご指導によって作成した。疑問があったら、同所にいって課長におたずね下さい。喜んで教えられます。

調停について

家庭上のことで調停を頼みたければ、印と戸籍謄本と金五百円程度持ってゆけば、親切に万事世話してやられます。

また、民事の場合は、金額によって五百円というわけにはゆかないが、一応相談されれば、最低の金で世話されます。（岡松）

発行所
津奈木公民館
芦北郡津奈木町
電話（代表115番）
編集　編集委員会
印刷所　緒方印刷所
八代市通町
電話（八代）② 3117番

年頭所感

母子会長　片桐マヨ

世界中を不安に陥れた石油ショックに明け、物価狂乱に暮れた一年、そのインフレの中で一番苦しんだのは母子世帯の人達ではないでしょうか。暗いニュースの多い中で永年寝たきりの御姑さんを介護され町長表彰を受けられた浜本あや子さんの嬉しいニュースでした。〝急がずに悠々行かん兎年〟、急いで途中でダウンしないようがんばりましょう。

婦人会長　山口アツ子

明けましてお目出とうございます。石油パニック以来昨年は大変きびしい年でありました。本年は兎の年にふさわしい福祉優先の国家予算が編成されています。私達の町もこぞって福よかな年でありますように心からお祈りいたします。社会福祉と教育優先に副うよう全力を傾け心豊かな人づくり町づくりに精一杯努力したいと思います。

身体障害者会長　伊藤嘉次郎

明るい太陽を見る時おのずと自分が生きている幸せを感じます。昨年十月より、釜会長の後を引つぐ事になりましたので身障者の皆様何卒よろしく御指導御鞭撻の程御願申上げます。昨年の事業では熊本水前寺グラウンドに於て県身障者体育大会、鹿児島市体育館に依る九州ブロック大会、又芦北町湯浦に於て郡対抗ソフトボール大会と目覚ましい活躍を遂げて戴き参加者の皆様に心より感謝の真を捧げる次第で御座います。尚本年は昨年以上に事業も多くなろうかと思いますが、御協力下さいますよう御願い申上げます。

PTA会長　佐々木緑

昨年四月、私は赤崎小学校PTA会長を拝命し、会員の協力のもとに、各部門の責任者の指示に従い会の運営にあたり、特に、児童交通の安全、会員体育の成果は大なるものがあり、心から感謝と喜びを深く致しました。

今年は文化活動に重点をおき、創立百周年と相まって、会の優雅さと向上に努力したいと思いますので、皆様方の御協力の程を、切にお願い申上げます。

遺族会長　沢田進

新年おめでとうございます。御遺族の皆様には御健やかに新年を迎えられましたことを心からお慶び申上げます。昨年は遺族の切なる要望であります靖国神社法案が衆議院内閣委員会で可決されながら不成立に終ったことは甚だ痛恨に堪えません。今年は終戦の日から三十年を数えますが今日の厳しい繁栄の中で真の平和を求め町の発展を念じ皆様と力を結集して靖国神社国家護持が一日も早く実現することを祈念してやみません。皆様の御協力をお願い致し、ご遺族の御健勝と御多幸をお祈り致します。

老友会長　永松登弥

兎の年生れというわけでもないが、今年は何だかいい年のような気がする。

それは体調のいいことで、年を重ねると、健康ほどうれしいものはない。老いゆく身に鞭打って、老友会の為、社会の為、微力を捧げたいと思っている。

主張

古いものは尊ばれなくてはならない

史談会長　岡松壮

名のつけ方

産婦はその家の一番暗い部屋でお産をする。

子が生れて三日たつと、「かみたてがあり、命名の儀がある。先ず三種の名を選び、それぞれの名を紙片に書いて別々にまるめる。それを小さなお盆に入れておく。産婆さんは、ジュズのふさをもって、お盆の中の紙の玉をなでて、第一にふさにさがったのが、その子の一生の名となるのである。まあ、神様が名を選んで下さったと安心する。こんな古い風俗習慣を記録して後世に残すことも意義が深い。

虫追い

直径一米もあろう程の大太鼓を六・七人の青年がかこんで、一定の曲をたたく。一方、スキ焼鍋の形をした鐘をたたいて、太鼓と合奏する。

坂越から、染竹からと、一団一団がたたきながら、桜戸の立岩あたりに集まる。そしてまた競演打ち方に七、八種あるとか。それを知っている人が少なくなっていく。今のうちに何とかして記録しておきたいものだ。

城山

城山は薩摩の島津に対する、肥後の重要な要害な城であったから、設備・要員も大きかったろうと思われる。頂上の平地から、ヤカンが出たり、石臼を拾ったり、鉄砲玉を見つけたりした話をしばしば聞く。

城山に対応する茶臼山なども含めて解明する研究もあらねばならない。

津奈木のこんな研究調査は、他の市町村に対して、非常におくれているようだ。

史談会がなさねばならぬ仕事はひじょうに多い。

金言名言

名言は人生に対して不思議な力をもつ。ある時は人を教え導き、ある時は人を励まし慰める。

朝の誓

今日一日、三つの恩を忘れず
　よろこんで進んで働きます。
今日一日、人の悪をいわず
　おのれの善をかたりません。
今日一日、気づいたことは
　身がるにすぐおこないます。
今日一日、腹を立てず
　不足の思いをいたしません。
今日一日、三つの無駄を排し
　新しく大地に生き貫きます。

これは朝起実践を基軸として、徳福一致の生活道をすすめ、人生に生き甲斐と幸福を拓き、倫理文化を宣揚し、もって社会の平和と福祉に寄与せんとする社会教育団体、実践倫理宏正会の「朝の誓」のことばである。三つの恩は社会の恩、師の恩、親の恩。三つの無駄は物の無駄、時の無駄、心の無駄。物の無駄、時の無駄は誰でも言うことであるが、「心の無駄」にはちょっと気が付かなかった。然し考えてみると、何と心の無駄の多いことよ。

さてこの五つの誓、まことに至言である。どれか一つでもよい。今日一日それが守れたらどれ程心豊かな人になれることだろう。人生は今日の累積ではないか。昨日は過ぎ去った「今日」であり、明日は近づきつつある「今日」である。そして「今日」は再びやって来ない。かけがえのない一日である。なろうことなら、この五つの誓が守れた「今日一日」でありたい。そこに幸福な人生は約束されるのではあるまいか。

ほこら巡り (9)

堀二雄

写真は西福寺観音堂

高峯観音

芦北観音三十三ケ所霊場才二十六番、津奈木町古中尾。

現在は横二米、高サ二・五米のコンクリート建であるが、以前は普通の木造平屋の瓦葺きであった。近くに史談会の山崎貞次郎氏が居られるのでお聞きすると、〝私が十五・六才の頃から二回目の改築ですばい〟と言われた。扉の中には高さ五十糎位の正観音像があり、その側に首と手の無い木像が立てかけてある。これが最初のものであったろう。山崎氏が若い頃、いたずら者が居て、観音像を持ち出して附近の薮に捨てていたものを、村人が探して来たという。首も手もその時失ったのであろう。

観音像は六観音でそれぞれ姿形が異なっている。最も多く見受けられるのは、蓮を手にしている観音像である。蓮花が開いているのを持って居られ観音様は既に佛域に達して居られる事を現わし、蕾の蓮を持って居られるのは将来佛域に達せられる観音様である事を現わすものであると云う。他の五観音は、千手、馬頭、十一面、不空羂、如意輪である。

因みに高峯観音の持歌は、

今日の日を早や高峯に入りあいの
　かねて知らするにしのふる郷

入りあいの鐘を聞きながら、心静かに祈った昔の村人達は幸せであったろう。

芦北観音三十三ケ所霊場第二十七番

岩城観音　西福寺

門をはいると、すぐ左側に一宇の堂がある。前にごようの松の見事な老木があり、如何にも善樹院と云う名にふさわしい物静かなたゝずまいである。庭はきれいに掃き清められ、冬の夕暮れ時ではあるが全く清々しい。堂は小じんまりした木造平屋建の瓦葺き、扉を開いて入ると、中もよく手が届いて観音様も居心地がよさそうだ。是処の観音も正観音だが他に比べて一段と立派である。像は帯冠であり、その冠飾りも実に繊細であり蓮台も数段重ねて仲々の貫禄である。

岩城観音の持歌は

月も日も同じ心の岩城山
　いわで教ゆるかの国の道

大慈悲の観音様、害毒に充ちた現日本から三毒七難を去らしめ給え。